

## 名書法家張炳煌25日在東京國立美術館以日語做「書法今探」

學校要聞

名書法家張炳煌25日在東京國立美術館以日語做「書法今探」向日本書法界做專題演講。

聞名海內外的基隆籍書法家張炳煌，以「書學今探」在日本東京國立美術館向日本書道界，介紹台灣書法現況，書法的時代意義，和發展的可能性等。

張炳煌是應日本產經新聞的邀請向200多位日本書道界做專題演講，他特別介紹數位e筆，並分別以e筆和毛筆現場揮毫，數位e筆主合能夠結合現代科技，將書法帶進新局，獲得極高的評價。

張炳煌現任淡江大學教授，中華書學會會長，最近曾回基主持基隆城隍廟文化祭舉辦書法比賽，而受他們地方各界好評。

## 書道に対する私の考え方(二)

・文字の生命力を創生するということ。

—自我の意識があるはず

・**書道芸術**とは—

- ・ 熟練の技法と書道の素養を持って、審美的観念をもって作品を書く。作品に創作者の思想と感情が溢れることで、鑑賞者に感動させることができ、初めて書道芸術と言える。
- ・ **書道創作**は文字を通じて自己を表現することである。  
—自分が書いた文字と文章の意味を理解しなければならない。
- ・ 書道は芸術として、美学の要素がなければならない。  
書道は字を書くことだけではない。昔からの文化涵養を持つべきである。